

観点別内容と特色

観点	内容と特色	例（該当ページ）
観点 1	目標達成への配慮	
教育基本法や学校教育法の理念を踏まえて編集上の配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●書写の学習を通して幅広い知識・教養を身につけるとともに、書写で培った「文字を正しく整えて速く書く力」を国語や他教科、日常の言語生活で生かす態度を育成できるよう配慮している。 ●知識・技能を習得し、課題解決を行う過程で、「思考力・判断力・表現力」や「学びに向かう力」など、「生きる力」を支える能力を養えるよう配慮している。 	<p>全学年・全教材</p> <p>全学年・全教材</p>
観点 2	学習・指導への配慮	
学習指導要領の基準性に鑑み、内容・系統は適切に構成されているか。	[1] 学習指導要領への対応	全学年・全教材
学習指導要領の方向性に対応した工夫・配慮はどのようになされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領に示された「我が国の言語文化に関する事項」の「書写」の指導事項を系統的かつ効果的に学習できるよう、各単元・教材での学習内容を焦点化し、生徒の発達段階を考慮しつつ、段階的に配列している。 	全学年・全教材
1 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用	<ul style="list-style-type: none"> ●知識・技能の習得と活用を繰り返しながら、着実に基礎・基本を定着できるよう、1年から3年までの内容を1冊にまとめ、段階的に配列している。 ●全教材に学習のポイントがひと目で分かる「 学習の窓」を設け、他の文字を書くときにも普遍的に活用できる基礎・基本、原理・原則を明確に示している。 ●硬筆練習帳「書写ブック」を新設し、毛筆教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を豊富に設定している。硬毛の密接な関連を図りながら、毛筆での学習が硬筆に生きるよう工夫している。 	<p>「学習の窓」P40 他</p> <p>「書写ブック」P1-28</p>
2 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●巻頭に中学校3年間の目標を掲げ、新たな学習事項である行書の学習に見直しをもてるよう工夫している。また、全教材に「目標」及び「学習を振り返る」（自己評価の観点）を明示し、知識・技能の定着や自己の変容が確かめられる構成としている。 ●生徒が見直しをもって、主体的に学習に取り組むことができるよう、各教材は、①考えよう（原理・原則の発見）→②確かめよう（書いて原理・原則を確認）→③生かそう（日常の文字に生かす・振り返り）という展開が、ひと目で分かる構成にしている。巻頭ページでは、「学習の進め方」を写真で分かりやすく示し、「どう学ぶか」をイメージできるよう工夫している。 ●教材冒頭には、文字の原理・原則を考えたり話し合ったりする活動を設定し、対話を通して主体性や思考力・判断力・表現力を養えるよう配慮している。 	<p>P30-31 「目標」「学習を振り返る」 全教材（1年P40-41）他</p> <p>1年P58-59 他 「学習の進め方」P36</p> <p>1年P54-55 他</p>
3 「文字文化」への理解を深めるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●身の回りにある文字を取り上げた「全国文字マップ」（3年）、見やすさ・読みやすさにこだわった活字（ユニバーサルデザイン書体）を扱ったコラム「UD書体って何だろう」（3年）、書の用具の製造工程を紹介した「書く道具が生まれる」など、文字や文字文化への理解・関心を高める教材を随所に位置づけている。 	<p>「全国文字マップ」 3年P92-95 「UD書体って何だろう」 3年P98-99 「書く道具が生まれる」 表2・P29</p>
全体の分量や、各学年の単元数・教材数の配分・配列は適切か。	[2] 分量・配列	全学年・全教材
	<ul style="list-style-type: none"> ●各学年で求められる学習要素を効率よく身につけられるよう単元・教材を精選し、発達段階に即して系統的・段階的に配列している。 ●1教材1事項で構成し、学習のねらいを焦点化することで効率的に力をつけられるよう配慮している。 ●各教材は、目標の把握→基礎・基本の理解→確認→活用→振り返りという学習の流れがひと目でつかめる構成で、生徒が見直しをもって学習できるようになっている。 ●本編と硬筆練習帳「書写ブック」を随時 相互参照しながら活用することで、生徒の実態や学校、地域の特性に合わせた指導ができるよう配慮している。 	<p>全学年・全教材 (1年P40-43 他)</p> <p>1年P58-59 他</p> <p>「書写ブック」P1-28</p>
教材化にあたり、どのような工夫が見られるか。	[3] 教材の選定と教材化	全毛筆教材 (1年54-55 他)
	<ul style="list-style-type: none"> ●毛筆教材では、朱墨や筆使いを示す写真を用いて、筆脈や穂先の動きを把握しやすいように工夫している。 ●教科書紙面に「QRコード」がある教材には、運筆動画や、用具の準備・片付けの解説動画など、スマートフォンやタブレットを使って閲覧することができる豊富な動画資料を用意している。 ●作例の種類や書式、筆記具などは、生徒の日常や学校生活に即したものを採用し、生徒が書写を日常に生かすイメージをもてるように配慮している。 	<p>「QRコード」 P32-33/1年P61 他</p> <p>1年P50 他</p>

観点	内容と特色	例（該当ページ）
教材文字や題材の選定は適切に行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●硬筆・毛筆とも、生徒の発達段階に即した字体で示している。また、生徒の混乱を招かないよう、楷書・行書ともに書きぶりを一貫させ、部分の形も統一している。 ●書写の学習要素を習得するのに適しているだけでなく、自然の美しさを感じられる文字を選定するなど、言葉としても美しい、価値ある教材文字を選定している。15 ●学習をサポートする写真やイラストにおいては、ジェンダーの平等を実現できるよう男女のバランスや役割に配慮している。5 	<p>全学年・全教材</p> <p>1年P60-61 他</p> <p>P1, P30 他</p>
国語科国語や他教科、日常生活との関連は図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●古典文学や短歌・俳句を書いて味わう「季節のしおり」や「名文を書いてみよう」、書き初めなどの体験を通し、伝統的な言語文化への理解を深められるよう配慮している。 ●「日常に役立つ書式」では、手紙やはがき、原稿用紙等の書式を整理して示し、身につけた書写力を日常生活に生かす手がかりとしている。 ●「目標を書こう」（1年）や「行書を活用しよう」（2年）ではノートや本の帯など豊富な作例を掲載し、書写で習得した知識・技能を、国語や他教科・学校生活に役立てる方法をイメージできるよう工夫している。 ●「物語を千年書き継ぐ」では、「源氏物語」が受け継がれてきた歴史を紹介し、我が国の言語文化への理解を一層深められるよう工夫している。 	<p>「季節のしおり」 1年P64-65/2年P90-91 3年P106-107 「名文を書いてみよう」 1年P8-9/2年P18-19 3年P22-23 「日常に役立つ書式」 P109-118 「目標を書こう」 1年P50 「行書を活用しよう」 2年P80-81 「物語を千年書き継ぐ」 P88-89</p> <p>「書き初め」P145-156</p> <p>「私の好きな言葉」 P104-105</p>
道徳との関連は図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●古典文学や短歌・俳句を書いて味わう活動を設定したり、全学年に書き初め教材を設定したりするなど、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するための素地を培えるよう配慮している。 ●「私の好きな言葉」（3年）では、卓球の伊藤美誠選手や漫画家の小山田哉さんの言葉を紹介し、生徒が自らも夢を描き、それに向かって行動しようとする意欲を高められるよう工夫している。 	<p>「学習のはじめに」 P32-35</p> <p>「文字の歴史を探る」 1年P48-49 「なりきり、書聖・王羲之」 P157</p>
小学校・高等学校との接続は図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●巻頭に小学校での学習内容をまとめた「学習のはじめに（姿勢・筆記具の持ち方／字形の整え方）」を設け、小学校からの円滑な接続を図るとともに、基礎・基本を活用の中で定着できるよう配慮している。 ●高等学校芸術科書道への関連を意識し、1年に「文字の歴史を探る」、巻末に発展「なりきり、書聖・王羲之」を設け、生徒の興味・関心に応じて書写学習を深化・発展させられるよう配慮している。 	
観点 3	表記・表現および使用上の配慮	
学ぶ意欲や楽しさを喚起することや、使用上の便利さ、表記・表現の正確性に対する配慮は適切に行われているか。	[4] 体裁に関する配慮	全学年・全教材 (1年P58-59 他)
1 デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ●限られた時間で効率よく学習できるよう、主たる学習要素は大きく丁寧に、それに付随する要素は小さく簡潔に示している。学習のねらいが明確で大切なことがつかみやすい、めりはりのある紙面構成になっている。4 10 ●学習のポイントを示す「 学習の窓」や課題解決のヒントを与えるキャラクターなど、紙面を構成する要素の役割を明確にし、生徒の主体的学習の助けとなるよう配慮している。 	全学年・全教材 (1年P40-41 他)
2 表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ●発達段階に応じて分かりやすい文章で表現している。表記や用語は学年で段階を設けつつ統一している。 	全学年・全教材
3 表紙・製本・印刷など	<ul style="list-style-type: none"> ●鮮明で正確な色調で印刷している。 ●環境への配慮から、再生紙・植物油インキを用いている。 ●製本は、針金を3か所に施した中綴じで、長期の使用に耐えるよう配慮している。 ●書き込み欄の充実に合わせて、強度が高く、鉛筆で書きやすい紙を開発し、採用している。文字やイラスト、写真が見やすく、裏写りの少ない紙質である。 ●表紙には、防水効果があって汚れにくい、撥水コーティング加工が施されている。 	<p>全体</p> <p>全体</p> <p>全体</p> <p>全体</p> <p>表紙</p>
特別支援教育や色覚の多様性への配慮はなされているか。	[5] 特別支援教育に関する配慮	全学年・全教材 (1年P58-59 他)
	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育の専門家による全ページの校閲を受け、全ての生徒が学習に集中できるように、大切なことがひと目でわかる、すっきりとした紙面構成を実現している。4 10 ●複数の色を組み合わせたときには、色覚の多様に配慮し、誰もが明確に識別できる配色を採用している。4 10 ●目次や小さい文字には、読みやすさと見やすさを追求した ユニバーサルデザイン書体を用いている。4 10 	全学年・全教材 (P6-7 他)

※国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）に関連する項目を数字で示しています。